

卒業までに身に付ける5つの資質・能力 ルーブリック

	コンピテンシー	コンピテンシーの説明	HOP	STEP	JUMP
課題発見力	疑う力	他者の意見をそのまま鵜呑みにすることなく、必要に応じて建設的な反論ができる能力	他の人の意見に「あれ？」と思ったときに、言葉にして伝えることができる。	色々な角度から情報を確かめ、しっかりとした理由（根拠）を持って疑問を投げかけられる。	相手の意見をただ否定するのではなく「もっとこうしたら良くなるのでは？」という前向きな提案に変えて、議論をさらに深めることができる。
	課題設定	状況を的確に把握しながら「何をすべきか」「どうやって成し遂げるか」を考え出せる能力	目の前の状況を見て、先生や周りのアドバイスをもらいながら「まず何をすべきか」を見つける。	自分で状況を整理して、具体的な目標と大まかな進め方を自分で組み立てることができる。	複雑な状況でも「本当の問題はどこか」を見つけ出し、それを解決するための具体的な道筋を自分で作ることができる。
	共感・傾聴力	相手の話を真剣に聴き、相手を深いレベルで理解し、相手の気持ちを尊重できる能力	相手の話を最後まで聴き、その感情や意図を受け止めることができる。	相手がどんな状況や考えを持っているかを想像しながら聴き、深く理解しようとする。	相手が言葉にしていない本当の気持ちに気づき、誰もが安心して意見を言える雰囲気をつくることができる。
	興味	自分が知らない・興味のない分野のことであっても、情報を積極的に収集することのできる能力	自分が知らない分野の話でも、まずは食わず嫌いせずに聞いてみて、少しでも面白いところを見つけようとする。	あまり興味のない分野のことでも、「自分の探究や社会とどう繋がっているか」を意識して調べることができる。	自分が全く知らない・興味のない分野のことでも、「新しい発見があるかもしれない」と、自分から積極的に情報を集めることができる。
実行計画力	個人的実行力	自らの意思によって行動して計画を進め、何事にも自ら進んで取り組むことのできる能力	決められた計画や指示に従い、自ら進んで行動できる。	主体的にPDCA（計画・実行・評価・改善）を回しながら計画を進められる。	誰もやったことがないことや難しいことでも、自分でやると決めて、最後までやり抜くことができる。
	決断力	自分の考えと客観的な事実とを照らし合わせながら判断し、物事を決めることのできる能力	自分の考えを持ち、提示された選択肢の中から選ぶことができる。	自分の考えと事実を照らし合わせ、良い点や悪い点を比べながら決めることができる。	先のことが分からない状況でも、集めた事実と自分の考えをもとに、責任を持って物事を決めることができる。
	柔軟性	変化への対応力とともに、その場その場で機転を利かせて行動を適宜修正できる能力	予定の変更や新しい状況を、落ち着いて受け入れることができる。	状況の変化に応じて、機転を利かせて行動や計画をうまく手直してきる。	予想外のトラブルや変化が起きても、それをチャンスに変えて、全体の進め方を一番良い形に調整できる。

	感情 コントロール	負荷が掛かる状況であっても、自分のストレスを自分自身でコントロールすることのできる能力	忙しいときやプレッシャーを感じたときに、自分のイライラや不安に気づき、周りに相談したり休んだりできる。	自分なりのストレス解消法や気持ちの切り替え方を知っていて、自分で機嫌を直すことができる。	やることが多くて大変な状況（負荷が掛かる状況）でも、感情に振り回されず、自分のストレスを自分でコントロールして落ち着いて行動できる。
思考力	論理的思考力	道理に即って物事を深く考えることができ、複雑なことでも分かりやすく説明できる能力	理由と結果を分けて、筋道を立てて考えることができる。	複雑なできごとの原因と結果を整理して、他の人にも「なるほど」と納得してもらえるように考えを組み立てられる。	正解が一つではない複雑な問題でも、筋道を立ててじっくり考え、誰にでも「なるほど！」と納得してもらえるように説明できる。
発信力	表現力	自分の考えや思いはもちろん、どんなことでも相手が理解しやすいように伝えられる能力	自分の考えや思いを、基本的な形（言葉やスライド）で伝える。	相手の知識レベルや関心に合わせ、構成や表現方法を工夫できる。	言葉や見せ方を工夫して、相手の心を動かし、深く共感してもらえるように伝えることができる。
	組織への働きかけ	目標を達成するためにチームワークを高め、前向きな雰囲気を作り出すことのできる能力	チームの目標を理解し、自分の役割を果たして協力的な態度をとる。	メンバーの強みを活かし、声を掛け合ってチームの士気を高められる。	仲間のやる気を引き出し、チーム全体が前向きに挑戦できるような良いムードを出すことができる。
自己開示力	内的価値	物事を自分の価値観で判断し、情熱・才能・知識・人脈・目的の要素から分析できる能力	自分の興味や関心をもとに、大切にしたいことを判断できる。	自分の「情熱・才能・知識・人脈・目的」を意識して、自分らしさを分析できる。	自分が大切にしたい思い（価値観）をはっきりと持ち、それを未来の行動や進路活動を進める強いエネルギーにできる。
	成長	どんな難題に対しても「自分の成長につながる」と信じて積極的に取り組める能力	失敗や難題も、落ち込みすぎずに次へのステップと捉えようとする。	難題を「成長の機会」と捉え、前向きな心で積極的に挑戦できる。	大きな壁にぶつかっても「自分を成長させるチャンスだ」と信じ、そこから学んだことを次の挑戦に活かせる。
	自己効力	何らかの課題に直面しても、「自分ならできる」と自信を持って物事を進めることのできる能力	先生や仲間に背中を押してもらいながら、「自分にもできるかも」と思って一歩を踏み出せる。	これまでの小さな成功体験を思い出し、「自分ならきっと乗り越えられる」と信じて課題に取り組める。	難しい課題や初めてのことに直面しても、「自分ならきっと解決する方法を見つけられる」と自信を持って進めることができる。